

これからの時代の当たり前?!

男性用トイレの「サニタリーボックス」

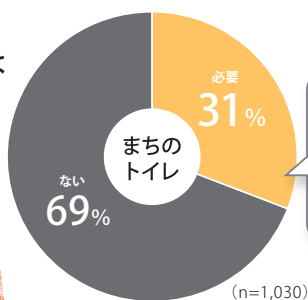
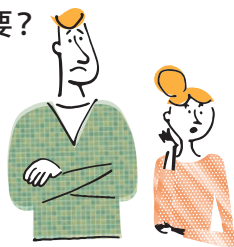
尿もれパッドを使用している男性や、トランスジェンダーへの配慮にもつながることから、男性用トイレにも設置の動きが広がりつつある「サニタリーボックス」。まだ定着というほどではありませんが、サニタリーボックスを求める声も聞こえてきます。

調査データ：外出先のトイレに関する意識調査2024 LIXIL
※グラフの数値はウェイトバック集計後の数値です。

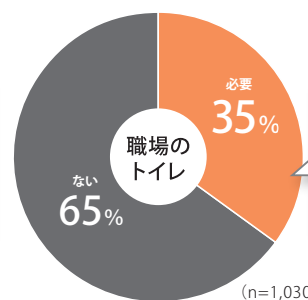
女性だけでなく、男性にもニーズあり

外出先のトイレにサニタリーボックスが必要かどうか聞いてみると、女性で6〜7割、**男性も2割近く**の人が必要と回答。男女とも職場のトイレのほうがやや多いことがうかがえます。

Q. トイレの個室にサニタリーボックスは必要?



女性61%
男性16%

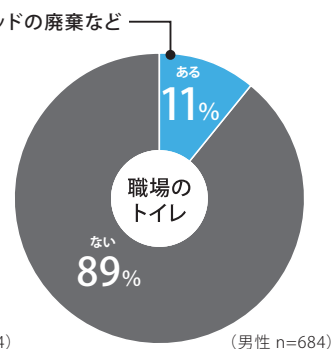
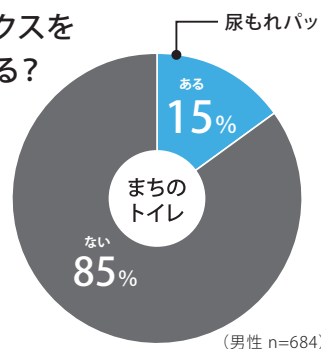


女性70%
男性17%

男性用トイレでの普及はこれから

尿もれパッドの廃棄など、**サニタリーボックスを使った経験がある男性は約1割**ほど。これは利用意向とは別に、そもそもの設置率が低いことも理由の一つとして考えられます。体調、年齢、ジェンダーなど、多様な理由からのニーズがある今、サニタリーボックスのさらなる普及が求められています。

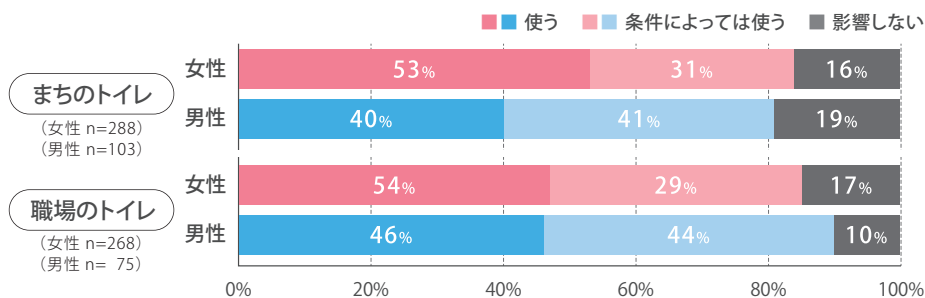
Q. サニタリーボックスを使ったことがある?



「男女共用トイレ」での利用意向は8割以上

サニタリーボックスを使ったことのある人を対象に、飲食店などの小規模施設に多い「男女共用トイレ」においての利用意向を聞いたところ、**男女問わず8割以上**の人が使う・条件によっては使うと回答。**中が見えない、フタが自動開閉といった配慮**があると、男女問わず多くの人を利用しやすくなりそうです。

Q. 男女共用トイレでサニタリーボックスを使う?



POINT!

男性にも一定のニーズがある「サニタリーボックス」
今後さらなる普及促進が望まれます

洗顔、歯磨き、お化粧直しetc. 手洗いコーナーで“手以外”もキレイに

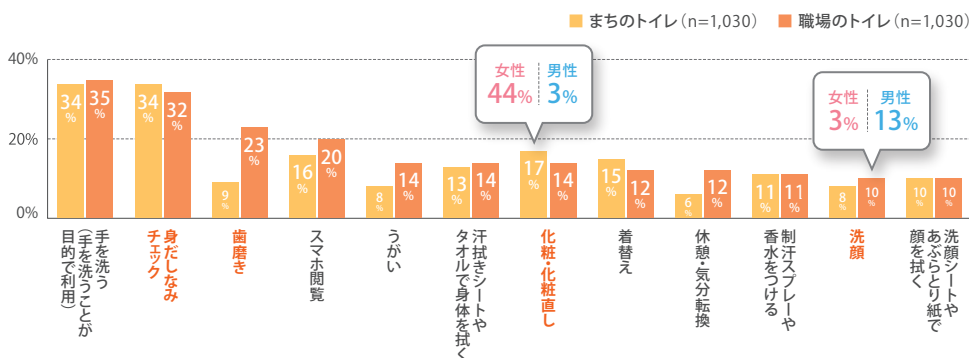
1日の外出時間が長くなるほど、身だしなみチェックなどでトイレに立ち寄る機会も増えてくるもの。実際、まちや職場のトイレの手洗いコーナーは、どんな用途で利用されているのでしょうか。探してみると「手を洗う」だけではない、さまざまな利用ニーズが浮き彫りになってきました。

調査データ：外出先のトイレに関する意識調査2024 LIXIL
※グラフの数値はウエイトバック集計後の数値です。

トイレをスタイリング空間として活用

トイレ空間で用を足す以外にすることを聞いてみると、手を洗うことに続いて、**身だしなみチェック**が上位に。さらに、**歯磨き、化粧、洗顔**など、スタイリング用途での利用が多かったです。特に顔まわりのケアとして、まちのトイレで**化粧直し**をしたいという女性、職場のトイレで**顔を洗いたい**という男性からのニーズが見受けられます。

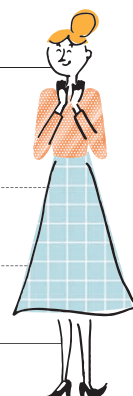
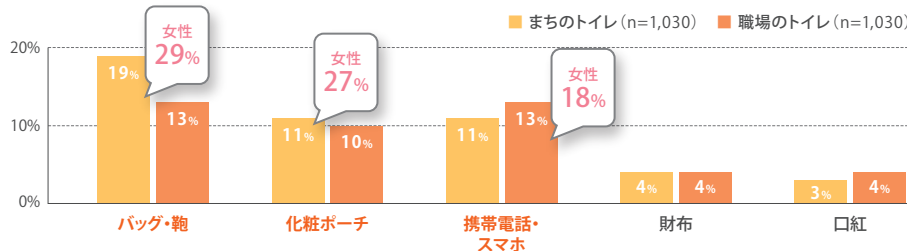
Q. トイレ空間で用を足す以外に何をやる?(複数回答)



手洗い・スタイリングコーナーに求められる「小物置き場」

スタイリング時に、カウンターに置くもののトップ3にあがったものは、**バッグ・靴、化粧ポーチ、携帯電話・スマホ**。手洗い・スタイリングコーナーに小物を置いておけるスペースがあると、利用者にとっての快適性が高まりそうです。

Q. スタイリングの際に、カウンターの上に置くものは?(複数回答)



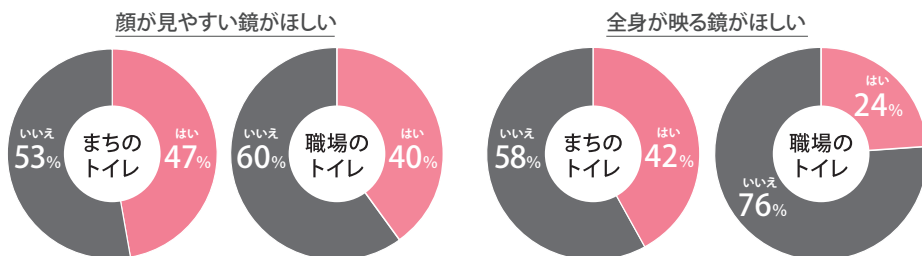
顔も全身も!女性の鏡ニーズ

さらに、スタイリング時に欠かせない設備の一つ「鏡」に注目すると、**女性からのニーズ**が高く、お化粧時に**顔が見やすい鏡**と、**全身をチェックできる姿見**、その両方が求められています。



Q. 外出先で鏡がほしい?

(女性 n=346)



POINT!

外出先ではトイレをスタイリングの場として活用
手洗いコーナーへの**気配り**が満足度アップにつながります